

イーストスプリング・ アジア・オセアニア 好配当株式オープン (みずほSMA専用)

追加型投信／海外／株式

第10期(決算日 2016年4月15日)

作成対象期間(2015年4月16日～2016年4月15日)

第10期末(2016年4月15日)	
基準価額	14,922円
純資産総額	0.8百万円
(2015年4月16日～2016年4月15日)	
騰落率	△22.0%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(みずほSMA専用)」は、2016年4月15日に決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

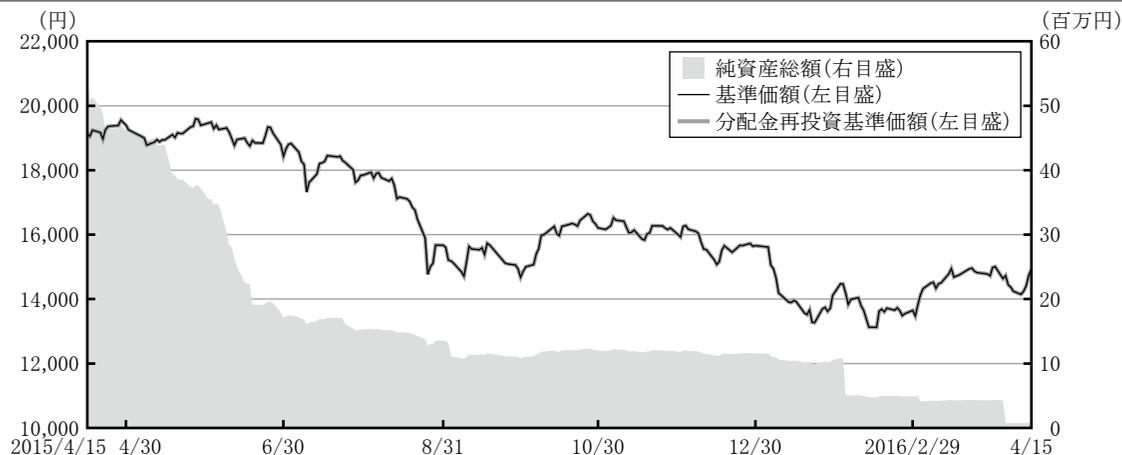
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第10期:2015年4月16日から2016年4月15日まで)



第10期首	19,136円
第10期末	14,922円(既払分配金0円)
騰落率	△22.0%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

基準価額の主な変動要因

中国の景気減速懸念や世界的なリスク回避姿勢の強まりを背景に、株安、円高が進展したことから基準価額は下落しました。2016年3月には、欧州中央銀行(ECB)による市場予想を上回る金融緩和策の発表や、米連邦公開市場委員会(FOMC)での年内の利上げペース鈍化の見通しなどを受けてアジア・オセアニア地域の株式市場は反発しましたが、日本のインフレ期待が後退して一段と円高が進展したことから基準価額の上昇は限定的となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015/4/16 ～2016/4/15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	168円 (146) (9) (12)	1.026% (0.896) (0.054) (0.076)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、16,335円です。 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券)	19 (19) (0)	0.119 (0.119) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券)	12 (12) (0)	0.072 (0.072) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1) (その他)	46 (8) (30) (5) (4)	0.284 (0.048) (0.181) (0.031) (0.023)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等 キャピタルゲイン税及び信託管理事務に係る手数料等
合計	245	1.501	

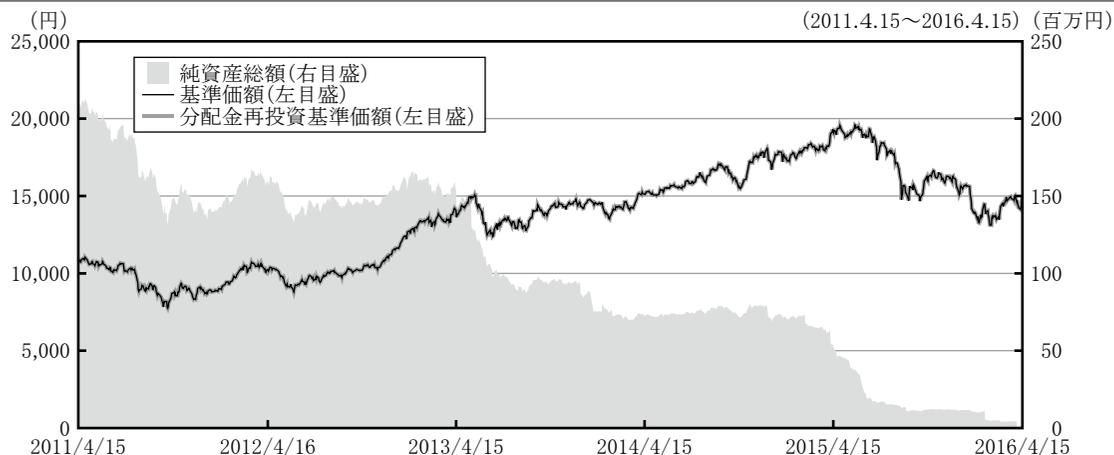
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

決算日	2011/4/15	2012/4/16	2013/4/15	2014/4/15	2015/4/15	2016/4/15
基準価額 (円)	10,925	10,233	14,072	15,114	19,136	14,922
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△6.3	37.5	7.4	26.6	△22.0
純資産総額 (百万円)	211	159	153	72	53	0.8

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外株式市況

期前半は、2015年8月の中国人民元の実質的な切り下げ発表などを受けた中国本土株式市場の急落や、中国経済に対する悲観的な見方などを背景に、世界の株式市場は調整を余儀なくされました。2016年年初から中国の景気減速および原油価格下落を受けた信用リスクの悪化、産油国の投資資金引き揚げなどへの懸念が世界的なリスク回避姿勢を強め、株式市場は大幅に調整しました。3月にはECBによる緩和政策強化の内容が市場予想を上回ったことや、米国の利上げペース鈍化の見通しなどを受けて、それまで米ドル高懸念から売られていた新興国の株・債券や原油等において反発が見られ、アジア・オセアニア地域の株式市場も当期末に向けて上昇基調で推移しました。

○為替市況

アジア・オセアニア地域の通貨は、米国の利上げ開始を控え米ドルが上昇したことや、世界的なリスク回避姿勢の強まりや日本のインフレ期待の後退などを受けて円高が進展したことなどから対米ドル、対円で下落しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行いました。

○イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり利益の獲得を目指した運用を行いました。当期中の投資行動では、バリュエーションが魅力的な水準にあり値上がりが期待できる銘柄の中から、配当利回りが高い銘柄や今後の増配が期待できる銘柄などに注目し、市場平均を上回る平均配当利回りの水準を維持しました。

組入比率については、国・地域別では、台湾、シンガポールなどを引き上げる一方、インド、マレーシアなどを引き下げました。セクター別では、情報技術を引き上げる一方、金融を引き下げました。パフォーマンスについては、国・地域別では、中国(香港市場)やオーストラリアなどが、セクター別では、金融やエネルギーなどがマイナスに影響しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第10期	
	2015年4月16日 ～2016年4月15日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	11,965

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)一印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

引き続きイーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券を高位に組入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

○イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

分散投資によりリスクの分散を図りながら、先進国と比較して相対的に高い経済成長が期待される日本を除くアジア・オセアニア地域の株式へ投資を行います。今後とも、個別銘柄のキャッシュフローと配当の持続可能性に注目したリサーチを基に、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行う予定です。

現在のように先行き不透明感を背景に市場がマクロ経済などのニュースに敏感に反応するような局面では、株価の短期的な変動にも耐えうる投資期間を設定し、ファンダメンタルズとバリュエーションを十分に見極めるとい投資の基本に立ち返ることが重要と考えられます。企業のファンダメンタルズと関係なく株価が変動する局面では、財務体質の強い銘柄への投資機会をうかがってまいります。

お知らせ

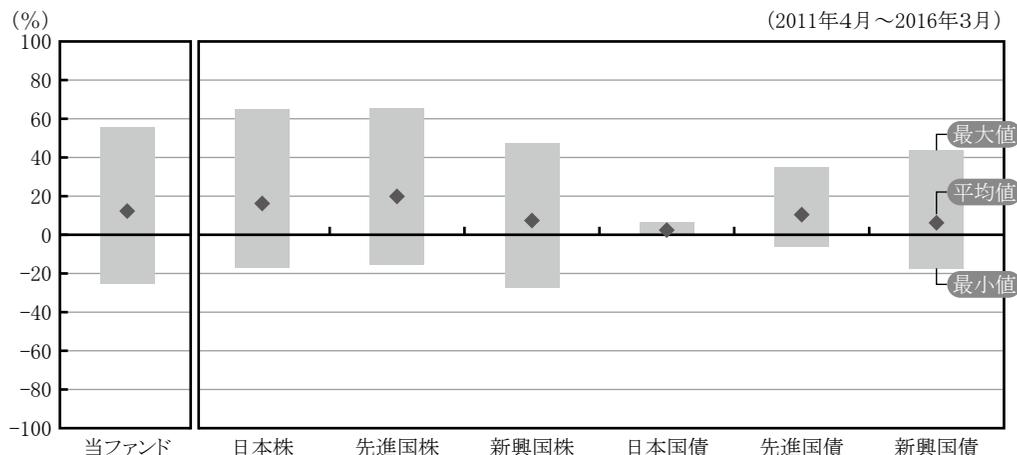
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(2006年4月17日設定)	
運用方針	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(みずほSMA専用)	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	日本を除くアジア・オセアニア地域の株式を主要投資対象とします。
投資制限	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(みずほSMA専用)	①外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ②株式への実質投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	①外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ②株式への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	毎決算時(4月15日。休業日の場合は翌営業日。)に経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	12.3	16.2	19.8	7.3	2.4	10.4	6.2
最大値	55.8	65.0	65.6	47.3	6.1	34.9	43.7
最小値	-25.5	-17.0	-15.7	-27.5	0.4	-6.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2011年4月から2016年3月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCIロクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債:NOMURA-BPI国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

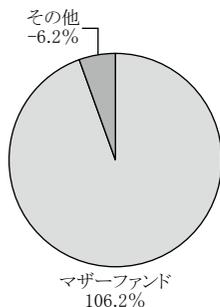
○組入ファンド

(組入銘柄数: 1銘柄)

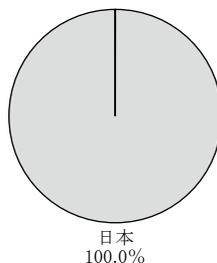
ファンド名	第10期末 2016年4月15日
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	106.2%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

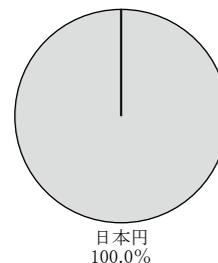
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第10期末 2016年4月15日
純資産総額	804,158円
受益権総口数	538,922口
1万口当たり基準価額	14,922円

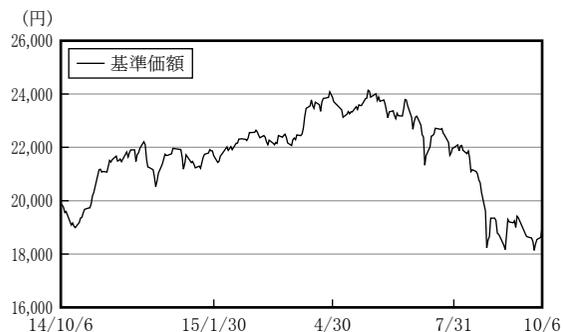
* 当期中において追加設定元本額は802,133円、一部解約元本額は28,226,855円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

(計算期間 2014年10月7日～2015年10月6日)

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

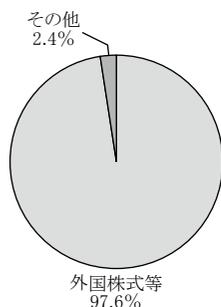
(組入銘柄数:75銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
China Construction Bank Corporation	銀行	香港	3.7%
Ind & Comm Bank of China	銀行	香港	3.5%
China Mobile Ltd	電気通信サービス	香港	3.3%
Westpac Banking Corporation	銀行	オーストラリア	3.3%
Bank of China Ltd	銀行	香港	3.1%
Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体・半導体製造装置	台湾	2.8%
Aust And Nz Banking Group Ltd	銀行	オーストラリア	2.5%
BHP Billiton Ltd	素材	オーストラリア	2.1%
CK Hutchison Holdings Ltd	資本財	香港	2.1%
Hutchison Port Holdings Trust	運輸	シンガポール	2.0%

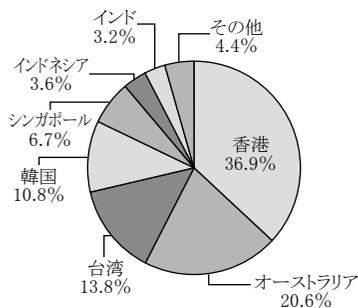
○1万口当たりの費用明細

項目	金額
(a)売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券)	29円 (29) (0)
(b)有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券)	14 (14) (0)
(c)その他費用 (保管費用) (その他)	28 (11) (17)
合計	71

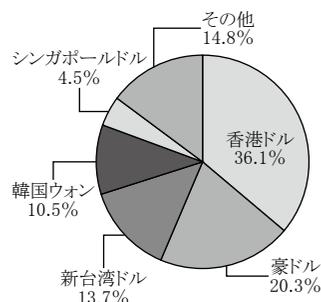
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。2ページの項目の概要および注記をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年10月6日現在のものです。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注5) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は、株式が上場されている主要な金融商品取引所の所在国・地域を記載しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。